

防災対策に全力

愛知環状鉄道 耐震補強現場を視察
知愛 党議 団県

公明党愛知県議団(木藤俊郎団長)は、このほど、愛知環状鉄道株式会社岡崎市内で行っている鉄道高架橋の耐震工事現場を視察するとともに、同社豊田分室(豊田市)を訪れ、社員と意見交換をした。

愛知環状鉄道は、岡崎市、豊田市、瀬戸市、春日井市の4市を通る鉄道で年間約1500万人が利用しているが、鉄道施設は建設後40年以上が経過して

り、老朽化が進んでいる。特に、路線内には道路と立体交差する高架橋が多く、大規模な取り換えや改修が必要となっている。

一行が視察した大門駅付近の高架橋は、橋の下を通る道路が災害時の緊急輸送道路になっていることなどから、地震などで橋が落下しないよう鉄筋コンクリートによる耐震補強工事が進められている。



視察後、木藤団長は

「災害に強い地域社会の構築に向けて、防災対策に全力で取り組みたい」と語った。

高架橋の耐震補強現場を視察する
党愛知県議団(右から5人)